2026 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名　株 式 会 社 ペ ル セ ウ ス プ ロ テ オ ミ ク ス
代表者名　代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉
（コード番号：4882 東証グロース）
問 合 せ 先　取締役執行役員
管理部長 兼 事業開発部長 棚橋 進
ir@ppmx.com

2027 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会における質疑応答（要旨）

当社は、2026 年 11 月 17 日（火）にアナリスト・機関投資家向けの「2027 年 3 月期第 2 四半期決算説明会」をオンライン配信にて開催いたしました。本資料は、同説明会における質疑応答の内容を理解促進のため、一部加筆・修正を行い、要旨として記載しております。なお、決算内容の詳細につきましては、2026 年 11 月 13 日公表の決算短信及び、同年 11 月 17 日公表の決算説明会資料をご覧ください。

No.	質問	回答
1	御社は 10 月 29 日付けで杏林製薬株式会社との共同研究契約締結を発表しました。 これまでも、あすか製薬株式会社や Eurus Therapeutics 株式会社との間で似た共同研究契約締結の発表がありました。これらの背景と今後の展開について教えて下さい。	当社は、成長戦略のひとつとして協業による拡大を掲げています。これまで発表してきたあすか製薬株式会社や Eurus Therapeutics 株式会社、さらに今回の杏林製薬株式会社との共同研究契約締結はその一環です。今後も当社がこれまで培ってきた技術や創薬基盤を土台としつつ、外部のパートナーとの協働・アライアンスを掛け合わせることで、更なる事業価値の最大化を目指します。
2	PPMX-T004 の予備毒性試験は予定通り 9 月に終了し、現在はその結果を精査中とのことである。今後は 2027 年 1 月からマスターセルバンク製造に着手する開発方針に変更はないと考えてよいか。	PPMX-T004 の開発方針に変更はありません。当社は予定通り 2027 年 1 月から PPMX-T004 のマスターセルバンク製造に着手する計画です。
3	これまでに実施してきた資金調達で得た資金の消化状況と、今後の資金調達実施の見込みについて、現時点での考えをお伺いしたい。	第 29 回の新株予約権発行による資金調達につきましては、約 9 億 3 千万円の計画に対して、約 7 億円を調達して 6 月に完了しております。このうち、PPMX-T004 の開発費用 1 億 5 千万円は、発生を 2026 年秋以降で計画しているので消化はこれからです。その他の研究開発資金については本年 1 月より計画通りに消化が進んでいます。今

		後の資金調達については、現時点で説明できる事項はございません。
4	御社は PPMX-T003 の臨床研究の結果を第 68 回米国血液学会（ASH）で発表するとリリースしました。この発表が PPMX-T003 の導出活動に与える影響をどのように分析していますか。	今回の ASH での発表は臨床研究の結果です。真性多血症患者さんを対象に実施した臨床第Ⅰ相試験（治験）のデータを補完する情報となります。PPMX-T003 の導出活動に対する影響は、導入を検討する相手企業側が判断することになります。
5	御社が 11 月 11 日付けで発表した PTX3 承認について質問します。リリースでは承認取得による当期業績への影響は軽微とのことでしたが、将来的にはどの程度業績に対するインパクトがありますか。	共同研究契約の詳細については開示しておりません。このため、お答えできることはありません。
6	PPMX-T003 の導出交渉の進捗について伺いたい。真性多血症領域は既に他社製品が上市され先行している環境だが引き合いはあるのか。御社が自ら次の臨床試験（治験）を実施する可能性はないのか。導出交渉に時間を要している要因はなにか。	PPMX-T003 は当社で臨床第Ⅰ相試験を実施し、さらに臨床研究が行われたところである。それらの結果に対して関心を持たれた数社とは技術情報交換をした。真性多血症領域は他社から新薬が上市されているが、PPMX-T003 には期待される製品優位性があり、本剤に対する医療ニーズはあると考えております。
7	先日、ある創薬ベンチャーがグロース市場からスタンダード市場への変更を申請するとリリースがあった。株式会社東京証券取引所のグロース市場上場維持基準見直しに伴い、御社は今後の経営方針についてどのように考えているのか。	当社は、2030 年 3 月 1 日からのグロース市場の上場維持基準の見直しに対し、同維持基準の達成に向けて、他社や業界の動向についての情報収集や様々な方策の検討を行っております。当面は、企業価値向上による達成を目指して取り組んでまいります。

以　上